

第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 総合開・閉会式会場の選定について [意見交換]

1 選定にあたっての基準や参考とすべき事項について

- 日体協が定める国民体育大会施設基準（別紙 1）
- 先催県の事例（別紙 2）
- 総合開・閉会式会場選定基本方針（別紙 3）
- 開催基本方針（別紙 4）
- 求められる会場周辺の環境等（別紙 5）
- 国民体育大会開催基準要項(抜粋)（別紙 6）
- 愛顔（えがお）つなぐえひめ国体・えひめ大会の開・閉会式の概要について（別紙 7）

2 その他選定にあたり考慮すべき視点等について

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

国民体育大会施設基準

「国民体育大会施設基準」総合開・閉会式

- ・ 式典会場は、観客席が仮設スタンドを含み、約3万人を収容できる施設
- ・ 屋外の式典会場の場合は、雨天対策用として体育館1

[出典：(公財)日本体育協会]

先催県における総合開・閉会式会場について

回	開催年	開催県	会場	所在地	施設所有	収容人員	備考
65	2010	千葉県	[開会式]千葉マリスタジアム	千葉市	千葉市	約 30,000	
			[閉会式]千葉県総合スポーツセンター 陸上競技場	千葉市	県	約 30,000	
66	2011	山口県	維新百年記念公園陸上競技場	山口市	県	約 20,000	
67	2012	岐阜県	岐阜メモリアルセンター 長良川競技場	岐阜市	県	約 29,000	
68	2013	東京都	東京スタジアム (味の素スタジアム)	調布市	県	約 50,000	
69	2014	長崎県	県立総合運動公園陸上競技場	諫早市	県	約 20,000	
70	2015	和歌山県	紀三井寺公園陸上競技場	和歌山市	県	約 19,000	
71	2016	岩手県	北上総合運動公園北上陸上競技場	北上市	北上市	約 22,000	
72	2017	愛媛県	愛媛県総合運動公園陸上競技場 「ニンジニアスタジアム」	松山市	県	約 21,000	
73	2018	福井県	福井県福井運動公園陸上競技場	福井市	県	約 15,000	
74	2019	茨城県	茨城県立笠松運動公園陸上競技場	ひたちなか市	県	約 22,000	
75	2020	鹿児島県	鹿児島県立鴨池陸上競技場	鹿児島市	県	約 20,000	
76	2021	三重県	三重交通 G スポーツの杜 伊勢陸上競技場	伊勢市	県	約 19,000	
77	2022	栃木県	総合スポーツゾーン 新スタジアム	宇都宮市	県	約 25,000	
78	2023	佐賀県	未定 ※候補会場 (佐賀県総合運動場陸上競技場)	佐賀市	県	約 17,000	
79	2024	滋賀県	県営金亀公園 (仮称) 彦根総合運動公園第1種陸上競技場	彦根市	県	約 15,000	
80	2025	青森県	(仮称) 新青森県総合運動公園陸上競技場	青森市	県	約 20,000	
81	2026	宮崎県	未定				

平成 29 年(2017 年)12 月 20 日
第 1 回 常 任 委 員 会 決 定

第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会 総合開・閉会式会場選定基本方針

第 82 回国民体育大会（本大会）及び第 27 回全国障害者スポーツ大会の総合開・閉会式会場は、地方スポーツの普及・振興と地方文化の発展に寄与することを目的とする国民体育大会と、障がい者の社会参加の推進と障がい理解の促進を図ることを目的とする全国障害者スポーツ大会の趣旨並びに「第 82 回国民体育大会・第 27 回全国障害者スポーツ大会開催基本方針」に基づき、次の基準を考慮して、総合的に判断し選定する。

なお、総合開・閉会式会場は、総務企画専門委員会において候補地の選定・審議を行い、常任委員会において決定する。

- 1 会場地となる市町村から開催に必要な協力が得られること。
- 2 会場周辺に駐車場等の用地や仮設テント等の設置スペースが十分確保できること。
- 3 多数の参集者が集まることができる輸送及び交通手段が確保できること。
- 4 会場周辺に相当の宿泊受入能力があること。
- 5 総合開・閉会式会場は、同一会場で行うことを原則とする。
- 6 全国障害者スポーツ大会の開・閉会式会場は、国民体育大会（本大会）と同じ会場で行うことを原則とする。

第82回国民体育大会・第27回全国障害者スポーツ大会 開催基本方針

1 基本方針

第82回国民体育大会及び第27回全国障害者スポーツ大会は、全ての県民の元気と力を結集して、夢、勇気、感動などスポーツの持つ限りない力と、本県の多彩な魅力を発信する大会として開催します。

大会の開催に当たっては、大会運営の簡素化・効率化を図るとともに、大会終了後を見据え、より多くの県民が各々の関心や適性等に応じて「する」「みる」「ささえる」など様々な形でスポーツに参加できる文化の創造と、地域の魅力発信による経済の活性化等を通じて、「スポーツを通じた元気な長野県づくり」の実現を目指します。

2 実施目標

(1) “スポーツ”で長野県を元気にする大会

人生100年時代と言われる今、スポーツを健康に活かした取組を推進し、スポーツを通じた“健康長寿世界一の信州”の実現を目指すとともに、観光資源とスポーツ資源を融合させた地域活性化等にも取り組み、元気な長野県を推進する大会とします。

(2) “スポーツ”の振興を支える好循環を創出する大会

長野県の地で選手が育ち、その選手が指導者となって次世代の選手を育成するなど、将来にわたり本県のスポーツ振興を支える好循環の形成に努めるとともに、子どもたちが夢や希望を未来へとつなぐことができる大会とします。

(3) “スポーツ”で共生社会づくりを加速する大会

障がい者の社会参加の推進と社会の障がい理解を促進するとともに、障がいの有無に関わらず、スポーツを通じた交流を拡大するなど、誰にでも「居場所」と「出番」があり、多様性を尊重する共生社会づくりを力強く後押しする大会とします。

(4) “スポーツ”の環境づくりを推進する大会

少子高齢化社会を迎え、地域ごとに求められるスポーツ施設に対する需要が変化していく中であって、将来にわたり安全で、適正なスポーツ施設環境を提供するとともに、誰もが生涯を通じて気軽にスポーツに親しめる環境づくりを推進する大会とします。

(5) “スポーツ”が長野県のファンを増やす大会

豊かな自然環境、美しい景観など数々の長野県の誇れる魅力を県民一人ひとりが見つめ直し、県内外に発信するとともに、全国から訪れる数多くの来県者を温かいおもてなしの心で迎え、一人でも多くの方に長野県のファンとなっていただける大会とします。

総合開・閉会式会場に求められる周辺環境等について

[本表は、国体開催基準要項及び同細則や、先に開催した都県の実績を参考に作成。]

必要となる空間	利用者	想定面積	概要
選手団待機所	○選手・監督	10,000 m ² ～	○入場行進に備え、整列し待機するスペース
選手団控所		5,000 m ² ～	○各県選手団の拠点スペース (荷物置き場、着替場所等)
式典前演技者・オープニングプログラム 出演者待機所	○演技者、出演者	10,000 m ² ～	○出演者が出番直前に待機する場所 ○式典会場(開・閉会式会場)に近接している必要がある
式典前演技者・オープニングプログラム 出演者控所		12,000 m ² ～	○出演者が待機所移動前に準備等を行う控所 ○幅広い年齢層の出演者が長時間(3～4時間程度)待機する必要があるため、屋根や椅子の確保が必要 ※先催県では、会場内の施設(体育館等)や近隣の学校等公共施設、隣接したホテルの宴会場等にて確保
駐車場(計画バス・シャトルバス)乗降・転回場	○選手団、観客等	10,000 m ² ～	※選手団の移動(特に「全国障害者スポーツ大会」)を考慮すると、会場内に確保することが望ましい
おもてなし広場	○選手、観客等	10,000 m ² ～	○国体スポンサー関連店のブース(必須) ○開催県PR・物産販売や飲食ブース
保安監察場 (セキュリティチェックゲート)	○開会式の全来場者	6,000 m ²	○ID管理、手荷物検査所 ※式典会場入場口前アプローチに設置することが望ましい
諸室	○大会役員、行幸啓関係者	-	※式典会場内に確保すること
大会実施本部ほか	○実施本部員、報道関係者	1,000 m ²	○実施本部員や報道関係者の詰所、実施本部倉庫等 ※会場内にプレハブ等で設置している例が多い

〈雨天対策〉

体育館	○最小限の参加で開会式開催が可能なスペース	1,500 m ² ～	※先催県の例から、体育館でなくてもよい ※必ずしも同一敷地内になくてもよい
-----	-----------------------	------------------------	--

国民体育大会開催基準要項（抜粋）

20 大会の式典

【本大会】

(1)大会の式典を行う場合は、冬季大会を含め回数を同じくする大会の総合開・閉会式として、開催県実行委員会が選定した競技会場で行う。ただし、本大会を複数の都道府県において開催する場合は、別に協議する。

(2)式典の所要時間は、原則として60分以内とする。

(3)式典は、できるだけ簡素なものとして、次の項目を必ず式典中に取り入れるものとする。

ただし、その他の項目については、開催県実行委員会において企画の上、日体協と協議して定める。

総合開会式 開会宣言

国旗掲揚

大会旗・日体協旗・実施競技団体旗掲揚

天皇杯・皇后杯返還

大会会長あいさつ

文部科学大臣あいさつ

天皇陛下お言葉

炬火点火

選手代表宣誓

総合閉会式 成績発表

表彰状授与

天皇杯・皇后杯授与

大会会長あいさつ

スポーツ庁長官あいさつ

開催県旗・参加都道府県旗・会場地旗降納

国旗降納

炬火納火

国体旗引継

次期開催県旗掲揚

閉会宣言

(4)総合開・閉会式時に集団演技を実施することができる。

(5)競技会終了後の表彰式は細則第8項により実施することができる。

【冬季大会】

冬季大会の各競技会においては、開始式並びに表彰式を実施するものとする。ただし、その場合はできるだけ簡素なものとし、内容については、開催県実行委員会において企画の上、日体協と協議して定める。